

各 位

2012年2月7日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 土谷 美津子
(コード番号 4343)
経理本部本部長 新田 悟
(電話 043-212-6203)

2012年2月期1年度の営業概況

1. 業績の進捗

1月度(2011年12月21日~2012年1月20日)の国内直営店舗の営業収益は、47億87百万円、前期比99.0%(曜日調整後100.0%)となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況(国内直営店舗)

(単位: %)

	1月度		当期累計(3月度~1月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	97.3	97.4	99.6	100.1
商品売上	106.9	107.0	106.8	107.6
遊戯施設売上計	99.1	99.2	101.1	101.7
売上高合計	99.0	99.2	101.1	101.6

※今年度の1月度は昨年に対し、正月休みが1日から9日と1日短いため、売上高前期比伸び率への影響は1.0%減になります。

3. 営業の概況

今期の1月度は、昨年の正月休みが1日から10日(成人の日)までの10日間あったのに対し、1日から9日(成人の日)までの9日間と1日減少したことから、その影響額は概ね50百万円の減少となりました。それにより、遊戯機械売上の既存店売上伸び率が97.4%(曜日調整後98.4%)と前年を若干下回りましたが、カードグループ主体の商品売上は同107.0%と好調に推移しました。

グループ別の動向は、売上構成比の高いプライズグループ(既存店売上伸び率90.0%)が人気景品の一巡から落ち込みましたが、カードグループ(同110.5%)や時間制遊具グループ(同115.4%)、メダルグループ(同104.5%)等の伸びで売上高合計では前年並みを維持することができました。

4. 出退店の状況

今期に入り(2/21~1/20)国内新規出店は5店舗、退店は5店舗となります。

※2012年1月20日現在の中国での店舗数は5店、マレーシアは20店舗となります。

以上